

地球規模課題の解決に資する研究成果の社会実装

- ベンチャーエコシステムの構築と大学発ベンチャー企業の国際展開
米国の海外拠点（シリコンバレー、ケンブリッジ）を通じた大学発ベンチャーの成長促進 ⇒ **スタートアップ累計数を3倍（500件）、スピンアウトレイズを倍増（100億円）**
- ニーズドリブン型開発研究の推進
社会ニーズ対応型外部法人の設立
- 筑波研究学園都市を未来実験フィールドとするチャレンジフィールドの開拓と活用
サイバニクス、AI、IoTを活用した未来社会に向けた新たなサービス創出
- 筑波研究学園都市を活用した国際連携

地球規模課題を解決する

「真の総合大学」へ

国境や組織の壁を超える人材育成

- デザイン思考教育の全学展開 — 全学的チュートリアルによる人材育成 —
⇒ **学生1,600人に全教員1,600人が対応するチュートリアル教育**
- 先進的な「高度」学際型教育の実現
ダブルメンター、リバーズメンターの展開、大学院を1研究科に改組
- 国際社会で活躍する優秀な外国人等人材の育成 ⇒ **外国人学生5,000人（30%）へ**
- 筑波大学の教育システムの輸出・国際展開
マレーシアに海外分校設置

新たな学問分野の創成

分野横断的な協働を推進

各々の学問分野を強化

Beyond the borders.

学問分野の壁を超える研究力強化

- 国際期滿制度による国際水準を超えた研究力の強化
国際テニュアトラック制度の拡充による若手研究者育成
計算科学研究センター、国際統合睡眠医科学研究機構を世界レベルの研究拠点に
⇒ **査読付き論文数を1.5倍（5,000報）、TOP1%ジャーナル論文を2.5倍（180報）**
- 異分野横断による新たな研究分野の創出
「ポストAI」等
- 人類社会に新たな価値を生み出す研究成果の創成
B2A（Business to Academia）研究所の設立

本学の課題

- 若手研究者比率
- 新分野の重点的強化
- デザイン思考の涵養
- 筑波研究学園都市のシナジー
- 優秀な留学生の確保
- 財源の多様化と資金の好循環

多様な取組を支えるためのガバナンスの強化

- 本部主導による戦略的な教員採用
⇒ **900人規模の若手教員を採用（若手比率30%）**
- 多様な構成員の確保と教職員の内在化の見直し
- 「大学経営推進局」（仮称）の設置によるガバナンスの強化

我が国の大学改革の先導者

筑波研究学園都市の中核機関

創設50年以下大学ランキング28位

創基以来のレガシー

海外の有力大学に比肩する高い国際性

財源の多様化と好循環による財務基盤の強化

- ベンチャーエコシステム等を活用した財源の拡大と戦略的資金運用の強化
- 大型の産学共同研究の推進による外部資金の拡充
- 産学連携の国際展開による外部資金の獲得強化
⇒ **共同研究費受入額を6.2億円、基金累計を7.0億円に増加**

世界水準を目指した新構想大学

- 国内では他に類を見ない教学システム（教・教分離、ナンバー学群等）
- 体育、芸術を含む幅広い学問分野
- 学長がリーダーシップを発揮できる大学自治（全学人事委員会）